

放っとかないで!

たんぱく尿

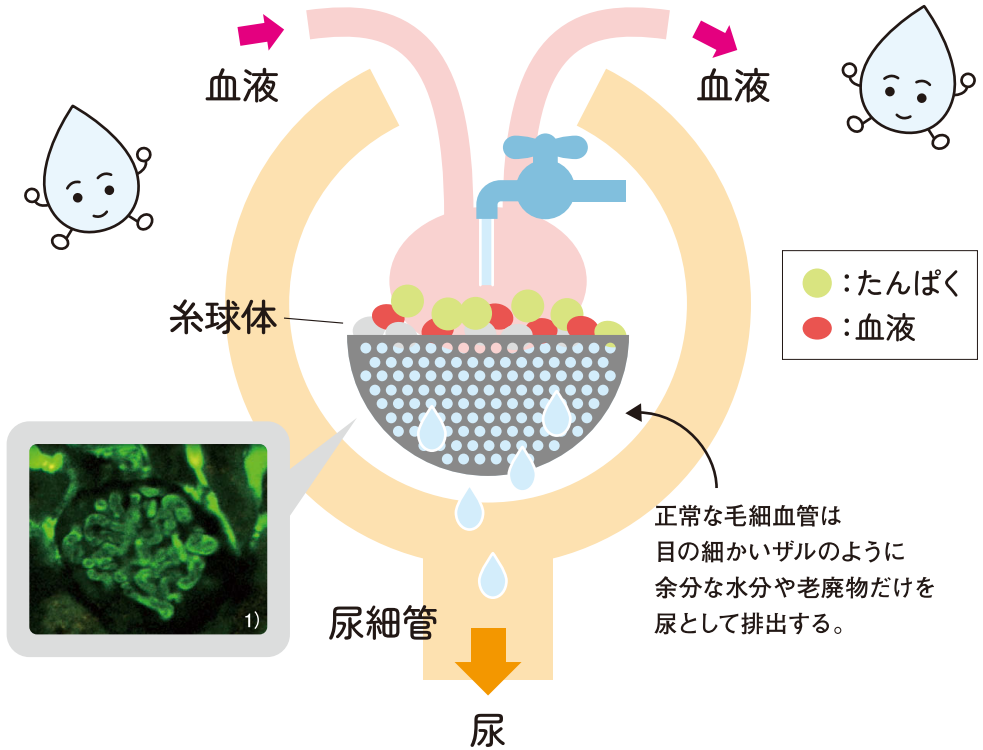
慢性腎臓病(CKD)の多くは「尿検査」で早期発見できます。

腎・尿路		基準値	今回値
比重			1.027
蛋白		(-)	(±)
潜血		(-)	(-)
ウロビリノーゲン		(±)	(±)
沈渣	白血球数		1未満/HRF
	赤血球数		1未満/HRF
	顆粒円柱		
	硝子円柱		
BUN		8.0 ~ 20.0	H 21.9
クレアチニン		0.00 ~ 1.00	H 1.02
eGFR		60 ~	62.88

尿に含まれるたんぱく(蛋白)を「尿たんぱく」。たんぱくの出ている尿を「たんぱく尿」といいます。



正常な腎臓



Q1

「尿検査」で何がわかるの？

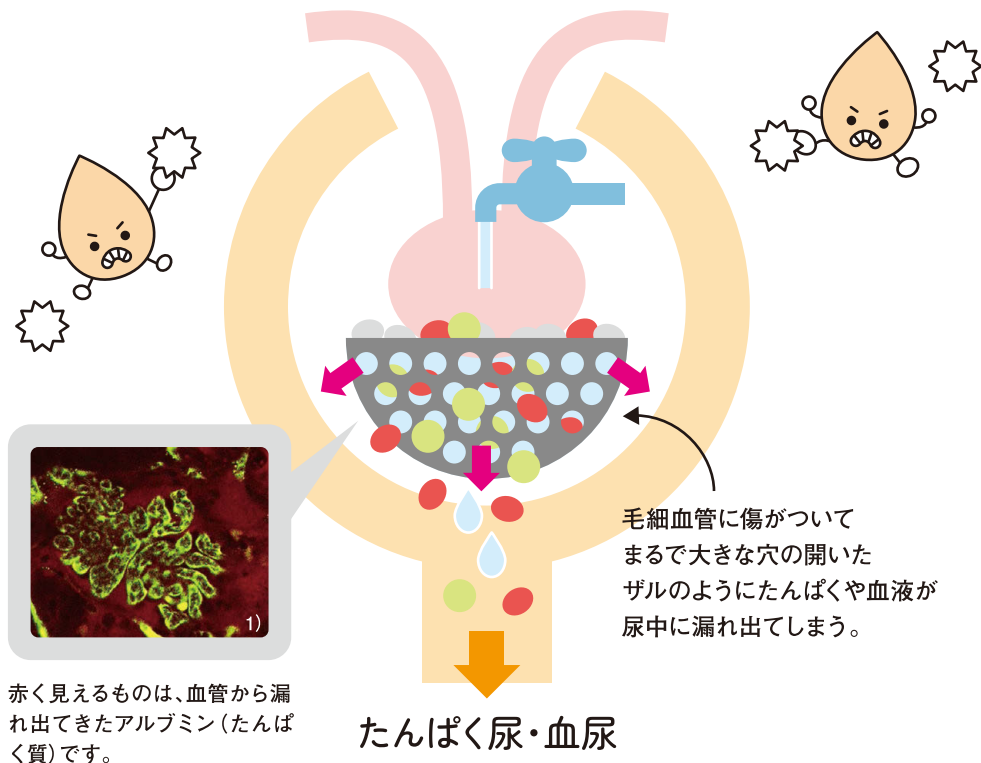
腎臓や尿路系の病気の可能性があるかどうかわかります。

尿蛋白 腎臓の病気が疑われます。

尿潜血 糸球体腎炎など腎臓の病気や、前立腺や膀胱などの病気が疑われます。

尿糖 糖尿病や腎臓の病気が疑われます。

たんぱく尿や血尿が 出ている腎臓



Q2

「たんぱく尿」は、どうして問題なの？

たんぱく尿が続くと、腎臓が傷つき腎機能も落ちてしまいますが、ほとんどの場合、自覚症状がありません。


しかし、放置すると腎機能が低下して 透析や腎移植が必要な末期腎不全になってしまう危険性があります。

健診の結果を確認しましょう

●尿蛋白に関する判定(血清クレアチンを測定していない場合)

健診判定		対応
正常  異常	尿蛋白 陰性 (-)	①今後も継続して健診受診を
	尿蛋白 弱陽性 (±)	②生活習慣の見直しを
	尿蛋白 陽性 (1+/2+/3+)	③医療機関の受診を

●尿蛋白および血清クレアチンに関する判定

健診判定 eGFR※の単位 mL/min/1.73m ²		尿蛋白 (-)	尿蛋白 (±)	尿蛋白 (1+) 以上
正常  異常	60 ≤ eGFR	①今後も継続して健診受診を		
	45 ≤ eGFR < 60	②生活習慣の見直しを		
	eGFR < 45	③すぐに医療機関の受診を		

※推算糸球体ろ過量(eGFR)は、血清クレアチンと年齢及び性別から計算されます。

eGFRはここから
計算できます

日本腎臓病協会ホームページ



尿検査でたんぱく尿・血尿を指摘されたら、
かかりつけ医に必ず相談をしましょう。

<監修>

厚生労働行政推進調査事業費補助金

「腎疾患対策検討会報告書に基づく対策の進捗管理および新たな対策の提言に資するエビデンス構築」班

(研究代表者 柏原直樹)

厚生労働科学研究費補助金

「腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病(CKD)対策の推進に資する研究」班

(研究代表者 岡田浩一)